

始良地区茶園管理ごよみ

一般防除				重点作業			
月別	旬別	病害虫基幹防除	薬剤と濃度, 使用日数	作業名	作業時期	摘要 (日)は, 摘採前日数	
1	全			機械点検	一番茶摘採前まで	摘採期の刃研ぎやすり合わせなど点検を十分に 防除機については, 農薬の飛散軽減対策を徹底	
	上			春肥1回目	1月下旬	魚粕入りソイル配合 有機質肥料を主体に土と混和	
2	上			補完防除	2月上旬~末	クワシロカイガラムシ防除 ブルーMC 1000倍 (一番茶前30日) 容器の管理はしっかりと!	
	中			春の園揃え	2月中旬~ 3月上旬	深くないように注意, 浮き葉や遅れ芽の整枝 (古葉混入防止)	
	下			防霜対策	2月下旬~ 3月上旬	事前点検・試運転は十分に センサー位置確認 防霜開始 設定温度: 防霜ファン 2℃, スプリンクラー 0℃から	
3	上	上旬~中旬	カンザワハダニのみ サビダニ混発	春肥2回目	2月下旬	フレッシュグリーン3号 緩効性窒素施用による作業省力化	
	中		ハロックフロアブル…… 2000倍(14日) ダニゲッターフロアブル…… 2000倍(7日)	芽出し肥	摘採30~35日前 (3月上旬)	新ボンデル入り茶配合 速効性の肥料施用	
4	下			補完防除	3月中旬~下旬	ハマキムシ類 ハマキコンロップ 30~50m/10a 支柱等を立て, 対象作物の上部に張り渡す	
	上			液肥	3月下旬	液肥 (摘採2週間前まで)	
	中	一番茶摘採期			補完防除	萌芽~1葉期 摘採直後	ハダニ多発時 ダニサラバフロアブル 1000~2000倍 (7日)
	下			被覆	摘採7~9日前	直接掛けで中6~8日間被覆	
	上			一番茶摘採	4月中旬~ 5月上旬	茶工場と打ち合わせて計画摘採に務める	
5	中	クワシロ第一世代 ふ化最盛期	クワシロカイガラムシ チャトゲコナジラミ	アブロードエースフロアブル 1000倍(14日) ※チャトゲのみ防除の場合は裾刈りを行い, 10a当400%散布 (ダニ噴口)	中切り更新	摘採後 出来るだけ早く行い新芽の生育期間を確保 更新後は石灰窒素 (ティーチャーエースなど) 施用	
	下	萌芽~1葉期	炭そ病, もち病 ※黒葉腐病 ウンカ, スリップス	ダコニール1000…… 1000倍(10日) ※黒葉腐病は700倍 ウララDF …… 1000倍(7日)	防風垣設置	4月下旬~ 5月中旬	幼木園では, 防風ソルゴーを播種 10a当たり2kg程度
	上			補完防除	1葉期	チャノホソガ発生時 カスケード乳剤 4000倍 (7日)	
	中			被覆	摘採6~7日前	直接掛けで中5~6日間被覆 遮光性の高い資材は, 葉焼けに注意	
6	下	萌芽~1葉期	ウンカ,スリップス	スタークル顆粒水溶剤 2000倍(7日)	二番茶摘採	6月上旬~ 下旬	一番茶摘採から45日前後
	上				深刈り更新	摘採後 出来るだけ早く行い新芽の生育期間を確保, 深くなりすぎない よう注意。更新後, 石灰窒素 (ティーチャーエースなど) 施用	
	中				整枝	摘採後 1回目: 摘採5日以内, 2回目: 摘採14~16日後三番茶芽を 切らないように遅れ芽のみ軽く整枝	
7	下				夏肥	萌芽期(6月)	グリーン3号 速効性の肥料を施用
	上				三番茶摘採	7月中旬~ 下旬	二番茶摘採から35日後。1節程度上げて摘採し, 秋芽伸育を 良くする
	中				最終摘採	7月末	最終摘採は7月末までに。充実した秋芽を確保する。
8	下				補完防除	最終摘採・ 整枝直後	輪斑病 カスミンホルダー 1000倍 (30日)
	上				秋肥1回目	最終摘採後	骨粉入りソイル茶配合
	中	萌芽~1葉期	ウンカ, スリップス, マダラカサハラハムシ ハマキムシ類	テッパン液剤 …… 1000倍(3日)	補完防除	秋芽生育期 (更新園)	ハダニ, マダラカサハラハムシ, チャトゲ, コカクモン発生時 コテツフロアブル 2000倍 (7日)
	下				土壌改良	8月上旬~ 中旬	土壌分析に基づく土壌酸度の矯正, 根の生育促進, 施肥効率の 向上
	上				堆肥・深耕	8月下旬~ 9月中旬	完熟牛ふん主体堆肥 10a当たり1t以内 深耕を行い, 土壌の通気性・透水性の改善
9	中	3~4葉期	炭そ病, 網もち病, もち病, 新梢枯死症 ウンカ, スリップス, チャトゲコナジラミ	ダコニール1000…… 1000倍(10日) 混用 インダーフロアブル 5000倍(7日) ガンバ水和剤 …… 1500倍(14日)	秋肥2回目	9月上旬	銘茶秋月
	下				補完防除	秋芽4~5葉期	網もち病常発園 クプロシールド 1000倍 (3日)
	上				液肥	9月中旬	液肥施用
	中				補完防除	9月下旬	ハマキムシ類, シャクトリムシ, ホソガ, チャトゲ多発時 ディアナSC 5000倍 (摘採前日)
10	下				秋肥3回目	10月上旬	茶のきすな秋1号
	上				秋冬番茶摘採	10月上旬~中旬	秋の本整枝時期を考慮して計画的に 秋整枝が遅れないように 平均気温が20℃以下になった時期 (10月15日を目処に終える) 深さに注意し, 葉層は8cm以上確保する 中晩生品種: 10月10日前後, 早生品種: 10月15日前後までに
	中				秋整枝	10月上旬~ 中旬	
11	全				防霜施設点検	10月末~2月	防霜施設の保守・点検・修理
12	全				秋冬期防霜	初霜期~ 12月中旬	早生, 更新園を中心に, 12月20日頃まで

米国輸出向け防除				
月別	旬別	病害虫防除	薬剤と濃度, 使用日数	
1	全			
	上			
2	中			
	下			
	上	上旬~中旬	カンザワハダニのみ サビダニ混発	ハロックフロアブル…… 2000倍(14日) ダニゲッターフロアブル…… 2000倍(7日)
3	中			
	下	中旬~下旬	ハマキムシ類	ハマキコンN
4	上			
	中	一番茶摘採期		
	下			
	上	クワシロ第一世代 ふ化最盛期	クワシロカイガラムシ チャトゲコナジラミ	アブロードエースフロアブル 1000倍(14日) ※チャトゲのみ防除の場合は裾刈りを行い, 10a当400%散布 (ダニ噴口)
	中	ハマキムシ類第一世代 幼虫発生期	ハマキムシ類	ハマキ天敵 …… 2000倍 (前日) ※展着剤加用
5	下	萌芽~1葉期	炭そ病, もち病 ウンカ, スリップス	ムッシュホルダーDF …… 500倍(7日) 混 ウララDF …… 1000倍(7日) 用
	上			
6	中			
	下	萌芽~1葉期	ウンカ,スリップス	スタークル顆粒水溶剤 2000倍(7日)
	上			
7	中			
	下			
	上	最終摘採直後	輪斑病	カスミンホルダー …… 1000倍(30日)
8	中	萌芽~1葉期	炭そ病, 輪斑病, もち病, 新梢枯死症 ウンカ, スリップス, マダラカサハラハムシ ハマキムシ類	アミスター20フロアブル2000倍(14日) テッパン液剤 …… 1000倍(3日)
	下	3~4葉期	炭そ病, 網もち病, もち病 ウンカ・スリップス	インダーフロアブル …… 5000倍(7日) コルト顆粒水和剤 …… 2000倍(7日)
	上			
	中	4~5葉期	網もち病 (常発園)	クプロシールド …… 1000倍(3日)
9	下	下旬	ハマキムシ類, シヤクカ類, ホソガ, チャトゲ多発時	ディアナSC …… 5000倍(前日)
	上			
10	全			
11	全			
12	全			

※点線囲みは補完防除

米国輸出向け薬剤			
殺虫剤	アクタラ顆粒水溶剤	サブリナフロアブル	デルフィン顆粒水和剤
	アグリメック	サムコルフロアブル10	トアロー水和剤CT
	アタックオイル	スタークル顆粒水溶剤(アルバリン)	ハチハチ乳剤
	アブロード系(3剤)	スピノエースフロアブル	ハーベストオイル
	ウララDF	ダニゲッターフロアブル	ハマキコンN
	エクシレルSE	ダニサラバフロアブル	ハマキ天敵
	エスマルクDF	ダントツ水溶剤	パロックフロアブル
	オマイト乳剤	チューリサイド水和剤	ファルコンフロアブル
	カネマイトフロアブル	チューンアップ顆粒水和剤	ブルーMC
	キラップフロアブル	ディアナSC	ポタニガードES
コテツフロアブル	テッパン液剤	モスピラン系(3剤)	
コルト顆粒水和剤	テルスター系(2剤)		
殺菌剤	ICボルドー66D	クプロシールド	フジドールフロアブル
	Zボルドー	コサイド3000	フリンフロアブル25
	アミスター20フロアブル	コサイドボルドー	フロンサイドSC
	インダーフロアブル	サンボルドー	ベニドール水和剤
	カスミンボルドー(カップバシ水剤)	スニア顆粒水和剤	ボルドー水和剤
キュプロフィックス40	ドイツボルドーA	ムッシュボルドーDF	
クブラビットホルテ	ドイツボルドーDF		
除草剤	タッチダウンIQ	ラウンドアップ	ラウンドアップマックスロード

本県奨励品種で防除が必要な病害

品種名	病害名	炭そ病	もち病	網もち病	輪斑病	赤焼病
くりたわせ						
ゆたかみどり						
さえみどり		△				
あさつゆ			△			
あさのか			△			
やぶきた		○	△			
はるもえぎ				○		
かなやみどり				△		
おくみどり		○	△			
はるみどり				△		

10月中旬頃に発生が見られる
茶園は改善多発しやすい
雨天時の摘採整枝により発生
発生しやすい
周囲が杉などに囲まれた茶園は
発生しやすい
冷夏時は一番茶期に発生しやすい
多雨年で一番茶期に発生しやすい
必要に応じて防除…△

農薬使用上の注意点

- 農薬の使用基準 (適用作物, 希釈倍数, 使用時期, 使用総回数)を守る。
なお, 本表の記載内容は, 予告無しに変更される場合があるので, 散布時には必ずラベルを確認するとともに注意事項をよく読む。
- 使用回数は, 摘採後から次の摘採までの使用回数で, 秋整枝や中切りなどの更新は摘採と見なす。
- 同じ農薬・系統は, 連用を避け, できる限り年1回使用とする。
- 風向き等を考慮し, 周辺地域への飛散防止を徹底する。
- 混用の順番は, ①展着剤→②乳剤→③水和剤

施肥資材使用の注意点

- 出所のはっきりしない堆肥及び施肥資材は使用しない。
- 新植・改植の苗導入の際は必ず, 技術員へ相談を。

乗用型管理機械取り扱い上の注意

- トレーラー及び運搬車を車道, 歩道上に放置しない。
- 移動の際は, 通行に十分な配慮を行う。
- 枕地を3m程度設け, 一般道路での旋回をしない。

お知らせ旗の取り組み

- 摘採10日前にお知らせ旗を設置し周知しましょう。

○生産履歴の記帳は正確に。 ○経営改善のため第三者認証に取り組みましょう。 ○スプリンクラー使用時は, 道路へ水が飛散しないように注意する。